

平成 26 年度 研究計画書

Research Plan FY2014

| | |
|----------------------------------|----------------------|
| 講座名・職名 Course Title・Job Title | 大学院言語文化研究科言語社会専攻・准教授 |
| 氏名 Name | 井上さゆり |
| 専門分野 Academic Field | ビルマ古典音楽・古典文学 |

平成 26 年度 研究計画 Research Plan FY2014

| | | | | | |
|---|------------------|-------------|---------------------|-------------|------------------|
| 主たる研究テーマ Principal Research Subject | ビルマ古典歌謡における伝承と創作 | | | | |
| <p>研究計画（400 字～500 字で記入すること。） Research Plan (Approximately 100 Words)</p> <p>本研究の目的は、ビルマ古典歌謡における伝承と創作の過程を明らかにすることである。書承と口承で音楽が伝承される過程及び創作が為される過程を明らかにする。作業は以下の 5 点を柱とする。（1）貝葉写本における歌謡集における伝承の内容の分析。（2）1930～80 年代のビルマ語音楽雑誌を分析し、この時期に「古典歌謡」の枠組みが作られ、実体化していった過程の解明。（3）マンダレーのドー・キンメイに古典歌謡の教授を受けるとともに、古典歌謡の教授実態について記録（録音、録画）を行う。また、彼女の夫の故ウー・ミンマウン氏作成の莫大な数の手書きの楽譜の記録撮影を昨年度に引き続き進め、同一曲のヴァリエーションの整理を行う。この作業により、口頭伝承において変化する部分としない部分を明らかにする。（4）デジタル化を進めているアナログ音源の作業を進める。（5）平成 26～29 年度科研費基盤（C）の計画に従い、研究を行う。以上の 5 点を実施し、科研費研究として行う予定の 8～9 月の現地調査も併せ、ビルマ古典歌謡における伝承と創作の過程の分析を進める。</p> | | | | | |
| 共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research | 地域研究（東南アジア） | 芸術一般（東南アジア） | アジア史（18-19 世紀東南アジア） | 文学一般（東南アジア） | 文化人類学・民俗学（東南アジア） |
| キーワード Keywords | ビルマ歌謡 | ビルマ音楽 | 外国文学 | ジャンル | 写本 |